

＜これからの予定＞ *11月12日(火)~21日(木) 蔵書点検のため休館となります

★きくちえつろうさんと楽しむおはなし会

☆とき 毎週水曜日 15:00-15:30
 ※11月13日・20日(蔵書点検)、1月1日
 (年始休暇)は休みです
 第4土曜日 15:00-15:30
 但し、11月は30日(第5土曜日)に開催
 ☆ところ 本館児童おはなしコーナー
 ☆対象 幼児~小学生

★絵本とあそぼう

☆とき 毎週木曜日 10:30-11:00
 ※10月31日、11月14日・21日(蔵書点検)
 1月2日(年始休暇)は休みです
 ☆ところ 本館2階集会室
 ☆対象 0~2歳

★りぶ活 yamagata 10:00-11:45

☆とき 10月19日(土) 11月2日(土)
 11月30日(土) 12月14日(土)
 ☆ところ 本館
 ☆対象 中学1~2年生

★おはなしの広場 10:30-11:00

☆とき 10月20日(日) 11月24日(日)
 12月15日(日) 1月19日(日)
 ☆ところ 本館児童おはなしコーナー
 ☆対象 3歳~小学生

★ツイート(つぶやき)短歌講座

☆とき 10月27日(日) 10:00-正午
 ☆ところ 本館2階集会室
 ☆講師 佐藤 紀之 氏(歌誌「山麓」同人・元中学校長)
 ☆対象 中学生以上

★英語の読み聞かせと歌の会

☆とき 10月27日(日) 15:00-15:30
 ☆ところ 本館児童おはなしコーナー
 ☆講師 森 俊樹 氏
 ☆対象 幼児~小学生

★おはなし会~耳からきく読書~ 15:00-15:30

☆とき 11月2日・12月14日・1月11日(土)
 ☆ところ 本館2階集会室
 ☆対象 小学生以上

★べにっこひろばでおはなし会 10:30-11:00

☆とき 11月10日・12月8日・1月12日(日)
 ☆ところ べにっこひろば
 ☆対象 幼児~小学生

★絵本とわらべうたの広場~冬の巻~

☆とき 12月1日(日) 10:30-11:00
 ☆ところ 本館2階集会室
 ☆対象 2~4歳

★動物画家藪内正幸原画展

☆とき 12月7日(土)-15日(日)
 9:30-17:00 (休館日除く)
 ☆ところ 本館2階展示ホール

★好きこそもの上手なれ

~稀代の動物画家藪内正幸の生涯~

☆とき 12月7日(土) 10:30-正午
 ☆ところ 本館2階集会室
 ☆講師 藪内正幸美術館長 藪内 竜太 氏
 ☆対象 小学生以上

★モンテディオ山形 岡崎 CC とディーオの一日館長

☆とき 12月8日(日) 14:00-15:30
 ☆ところ 本館2階集会室ほか

★方言で語る日本の昔話

☆とき 12月22日(日) 10:00-12:00
 ☆ところ 本館2階集会室
 ☆対象 一般

★とんとんの楽しい人形劇

☆とき 1月25日(土) 10:30-11:30
 ☆ところ 本館2階集会室
 ☆対象 幼児~小学生

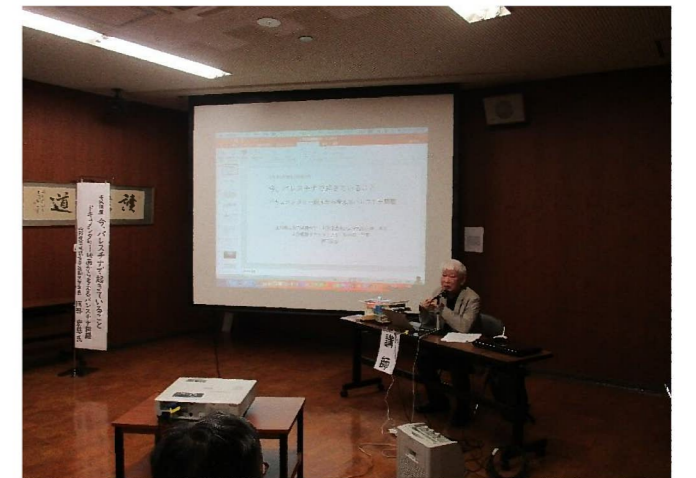
図書館だより

へいばな



第 300 号
 2024 年 秋
 山形市立図書館

秋晴の候 街の公園を散策するにも、ベンチに座って読書に勤しむにもさわやかなよい季節となりました。図書館を囲む木々の枝も静かにゆれて皆様をお待ちしております。



「戦争と平和の資料展」並びに市民講座「今、パレスチナで起きていること:ドキュメンタリー映画から考えるパレスチナ問題」を開催しました。

今年40周年を迎えた山形市平和都市宣言事業の一環として、7月27日(土)から8月29日(木)まで、本館において「戦争と平和の資料展」を開催しました。平和への取組と戦争に関連した郷土資料、一般図書、児童図書等を展示し、多くの方に観覧していただきました。

また8月10日(土)には、山形県立米沢女子短期大学学長阿部宏慈氏を講師にお招きし、市民講座「今、パレスチナで起きていること:ドキュメンタリー映画から考えるパレスチナ問題」を開催しました。

アッザ・エル・ハサン監督『モーゼからの権利証書』(1998)、アヴィ・モグラビ監督『最初の54年間一軍事占領の簡易マニュアル』(2021)等のドキュメンタリー映画を題材に阿部宏慈氏がパレスチナの現状と課題をわかりやすく解説してくださいました。

講座に参加した市民の方からは、新聞やテレビが伝えるニュースでは知ることができないパレスチナのリアルな現状と問題の深さが、映像と解説によりよく理解できたという声が寄せられました。

歴史として学ぶ戦争に加え、リアルタイムで起きている世界各地の戦争や紛争をより正しく、体感として知ることが、平和を守るため私達一人ひとりに必要なことだと考えさせられました。

(参考)その他の利用題材:マハディ・フレフェル監督『我々のものではない世界』(2012)、アブダッラー・アル=ハティーブ監督『リトル・パレスティナ』(2021)、ミシェル・クレイフィ監督『石の讃美歌』(1990)、エイアル・シヴァン、ミシェル・クレイフィ監督『ルート181』(2003)他。

阿部宏慈氏紹介:山形県立米沢栄養大学・山形県立米沢女子短期大学学長...文学一般・映像学専門
 山形国際ドキュメンタリー映画祭理事。

※山形市立図書館には、本講座で紹介されたパレスチナ問題に関する本を数多く所蔵しております。

*本館 小荷駄町7-12 TEL 624-0822 FAX 624-0823
 ・ホームページアドレス <https://lib.city.yamagata.yamagata.jp/>
 ・メールアドレス toshokan@city.yamagata-yamagata.lg.jp

*中央分館 A2七日町ビル5階 TEL 631-0170
 *東部分館 東部公民館1階 TEL 631-4090
 *北部分館 北部公民館1階 TEL 641-6215
 *霞城分館 霞城公民館1階 TEL 644-3332



図書館HPは
 こちらから



市民講座

「学校に足が向きづらいお子様の理解と対応」 を開催しました。

9月8日、山形大学地域教育文化学部教授佐藤宏平氏を講師にお招きし、市民講座「学校に足が向きづらいお子様の理解と対応」-『ないもの探し』から『あるところ探しへ』-と題して、今日の社会問題となっている子どもの不登校問題について考える講座を開催しました。当日は、多数の方にご参加いただき、社会的に関心の高いテーマであることが改めて浮き彫りになりました。

不登校児童や生徒数は年々増加の一途をたどり、令和4年の調査では、過去最多となり、出現率も毎年更新中とのことです。山形県の不登校児童・生徒数については全国的にみて少ないものの、同様に増加傾向にあるとのことです。

ご家庭での接し方として、「できていないところ」「足りないところ」「ダメなところ」に注目し、それによって呆れ、イラついていることがお子様に伝わってしまうことで、悪循環に至ってしまいます。そうではなく、「ちょっとした望ましい変化」「うまくやっていること」「強み」に気が付き、認め、お子様の変化を喜んでいくことが伝わることで、お子様の変化をもたらすとのお話でした。

山形市内には「適応指導教室『風』」の他、民間のフリースクール等も多数存在し、不登校児童・生徒への支援を行っています。来年度には、上山市内に「学びの多様化学校」が開設される予定です。

専門家による不登校の実態とそれを乗り越えるための具体策が示された有意義な講座でした。あらためて社会全体で考えていくべき問題であると思います。



図書館職員の「心にのこる本」⑤

市立図書館職員が、図書館の書架で出会った心に残る本を紹介します

『母の待つ里』(浅田次郎著／新潮社)

誰のころにもあるふるさとへの郷愁を具現化した作品です。

都会で暮らす三人の初老の男女が、それぞれの日常生活から離れて過疎の村に里帰りします。そこでの不思議な体験が、彼らのころの底に隠れていた裸の自分を掘り起こし、身の来し方を見つめ直すきっかけとなります。

作品はテレビドラマ化もされ、この本を読んだことのない視聴者にも好評だったようです。

ドラマの撮影現場となった岩手県遠野市のふるさと村は、小説の舞台のモデルともされる南部曲り家が6軒建ち並び、山里の農村の風景が再現されています。興味のある方は、本を携えながら訪問してみたいでしょうか。

(山形市立図書館職員 横山英樹)

ブックカフェ・カフェ講座開催(中央分館)

9月22日(日)中央分館(アズ七日町5階ブックラウンジ)でブックカフェを開催しました。

この日ご来館の方にバリスタの淹れたおいしいコーヒーを飲みながら読書の秋を楽しんでいただきました。

また、同時開催のカフェ講座では、Tsuki Coffee ロースター月岡涼二氏がコーヒーの歴史をわかりやすく解説し、美味しいコーヒーの淹れ方を教えてくださいました。

山形市立図書館では、多くの市民の皆様気軽に本に親しんでいただけるよう心掛けております。利用者の方からも楽しいアイデアを募集しておりますので、ご意見をお寄せください。お待ちしております。



図書館システムの新機能がさらに充実

山形市立図書館では、LINE 公式アカウントを開設しています。

友だち登録すると本の検索・予約、利用状況の確認、貸出カードの表示が可能です。

また、LINE で予約の受け取りや返却期限を過ぎた資料の連絡を受け取ることができるようになりました。



まずは友だち登録！



使い方はここから！